

つなぐ

秋号 2018 No.4

ご自由にお取りください



特集

時代劇の父 映画監督 伊藤大輔

がんばってます! **吉田**

インタビュー

写真家

水野謙治

C o n t e n t s



吉田町立間 大乘寺の紅葉 撮影 / 北濱一男

- 01 エッセイ 「私は牛鬼になりたい」 矢間 大蔵
- 02 インタビュー 「ずっと飾りたいと思える写真を届けたい」
写真家 水野 謙治
- 04 特集 宇和島と映画 時代劇の父 伊藤大輔生誕 120 年
- 05 「伊藤さんと私」
- 07 「映画が輝いていた頃の宇和島」
- 10 映画黄金期 昭和 30 ～ 40 年代の宇和島映画館マップ
- 12 特別企画 **がんばってます！吉田**
- 17 ツナグ昭和館 白い洋館が目立ったお屋敷町ー 賀古町界限ー 田部 司
- 18 宇和島のサッカーが熱い！
- 20 血圧を測りましょう。 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 21 えいよ～「栄養」のこと！ 広島修道大学 教授 藤井 文子
- 22 「不完全こそトイピアノの魅力」 畑 奉枝



表紙 / 「ボクの願い」
作 / ありま三なこ

プロフィール
1987年生まれ、愛媛県宇和島市出身。
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作でしかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。
現在は個展やイベントへの出品等で活動中。

つなぐ 秋号 No.4
〒798-0041
宇和島市本町追手 2-8-21
0895-23-7000
年 4 回発行（季刊誌）
配布先 / 宇和島信用金庫各支店ほか
発行 / 宇和島信用金庫
本誌掲載内容の無断転載を禁じます。

私は牛鬼が好きであつた。それもごく幼いころから好きであつた。巨大な牛鬼が、屈強な男衆に担ぎ上げられる時に生まれる豪放なたたずまい。体を包む布やシュロが悠々とたなびいていく時のまるで歌舞伎役者が見得をきるような気づぶのよさ、美々しさ、雄大さ。怪物として、ゴジラよりクールだと思つていた。ヒーローとして、ウルトラマンよりワールドだと思つていた。

子供は物心つくとも、まずクレヨンを握つて無邪気な絵を描き出す。普通の子がテレビのキャラクターや恐竜や友達や両親を描こうとするとき、私は牛鬼を描いていた。なにもまして牛鬼は私にとつてスターだつた。牛鬼のような男になリたかつた。そしてなにもまして、私は宇和島つ子だつたのである。

小学校へ上がったとき、丸之内の子供牛鬼保存会へ参加した。それは私をどれだけ驚喜させたろうか。そこで私は「牛鬼愛を満たすなら、見るより担いだ方がいい」ことに目覚めたのだと思う。

高校生の時、母が市立病院に勤めていた関係から、和霊大祭で宇和島市役所の牛鬼を担ぐことになった。いよいよ大人の牛鬼を担ぐことができる、そう思うと本当にうれしかつた。本物の親牛鬼はずしりと重かつた。担ぎ上げること自体に大きなスリルがあつた。集まつた大人

「私は牛鬼になりたい」

矢間 大蔵



たちは屈強で、声が震えるほど大きく、しかも、したたかに酔つていた。無数の渾身が一つになって牛鬼が街を練る時、そこにはえもいわれぬカタルシスがあつた。えもいわれぬ充足、えもいわれぬ目出たさがあつた。

宇和島市役所の牛鬼というのは、今も昔もスマートで、凛々しい。いつてみれば一つの「モデル」を示す使命を背負つており、その個性には乏しい。往事、親牛鬼パレードには八団体ほどの参加しなかつたが、それ以外の牛鬼は、なかなか個性豊かつた。

常にパレードの先頭が義務づけられていた丸穂の牛鬼は、頭(カブ)も胴体(どんがら)も巨大で、それは立派なものであつた。それから、あくまで伝統的な野趣にのつとつた和霊有志会の牛鬼は、ぎっかけなシュロの風情がいかにも獣じみていて私はとても好きだつた。金糸の綺羅をまとつたようなフジの牛鬼がいた。なんと無数のビニールひもを素材にできていた元結掛の牛鬼がいた。これらの牛鬼は、今ある無数のアバンギャルドな牛鬼の先駆だつた。そして、なんといつても殿(しんがり)をつとめる左官業組合の牛鬼と保田の牛鬼。肥大化の極に達したこの二体が乱舞するさまは、ほんとうに見事だつた。見物だつた。

大学を卒業して大阪に就職し、一気に

経済戦争にのみ込まれた私は、和霊大祭や秋祭りなどに帰省することもかなわず、二十年もの間、牛鬼に会えなかつた。それは、どれほど私を苦しめたらう。だから、いろいろなことがあつて、五年前、松野町に移住し、松野の牛鬼の担ぎ手として、和霊大祭にカムバックし、牛鬼たちと再会したとき、涙が出た。理屈抜きのところで、魂を取り戻したように思えた。しかも昔より参加団体がぐっと増えていたのがうれしかつた。

魅惑の怪物、ふるさとのヒーロー、牛鬼に、もっと人が集まつて、宇和島の祭りが賑やかになればいいと思う。



矢間 大蔵 やざま だいぞう

1974年 宇和島生まれ
宇和島南高等学校卒業後、和歌山の大学へ進学し、卒業後は大阪府の広告代理店に就職。コピーライターおよび商業筆文字師として活動。
2014年4月、農業を志し、地域おこし協力隊として愛媛県松野町へ移住。3年間の任期を終えた2017年4月より4500平米の桃農家と町の移住コーディネーターを兼務。またFMがいや「ワッツアップ! まつの」パーソナリティーとしても活躍中。

ずっと飾りたいと思える写真を届けたい

写真家 << KENJI MIZUNO 水野 謙治

宇和島市を中心に、こだわりのウエディングフォトで活動をしている写真家の水野謙治さんが今年2月に米国ラスベガスで開催された全米最大の写真コンテスト「WPPI」に初挑戦ながら見事に入選を果たした。水野さんが出品したのは、宇和島市の国指定名勝「天赦園」などで撮影した「結婚式の前撮り」と「人物」の2部門に計4点。その内3点が入選した。

お話を伺うため、今年3月に松山にオープンしたスタジオを訪ねた。

サラリーマン時代の画像処理ソフトのスキルを買われて写真館で働くことになったが、自らカメラを買って撮影しようとは思わなかった。

1年目から結婚式のスナップを任せられ、6年が経ち撮影の仕事が自分のフィールドとして固まってきた頃、写真業界にデジタル転換という大きなうねりがやってきた。

受講したセミナーでデジタルでのウエディングフォトの可能性を知り、自分のスキルがもつと生かせる面白い時代の到来を確信する。

その後は、人の撮影したスナップ写真を研究したり、屋外撮影にのめり込んでいった。やがてその情熱は、「アルバムにしまわれてしまう写真ではなく、飾られるアーティスティックなウエディングフォトだけを撮りたい」という気持ちに変わり、独立を決断する。

独立して2年が過ぎる頃から順調にウエディングの仕事が入るようになり、徐々に自分がやりたいように仕事をこなしていった。そんな時、東京を中心に20年以上活動をするオーストラリア人女性二人組のフォトグラファーがフェイスブックで水野さんを見つけ、「いいね」やコメントを入れてくれるようになる。後で分かった事だが、彼女たちは「WPPI」が認めるマスタートフォトグラファーという称号をもっていて、国際コンペティション（以下・コンペ）という世界があることや挑戦への扉を開いてくれたと言える。

その後、彼女たちが主催するセミナーやワークショップに参加しスキルアップしていく中で、「自分の写真が意外と勝負できるんじゃないか」と思えるようになっていった。

手始めにアジアを中心に開催される「Asia WPA」に挑戦した（2017は4点入選。2018中上半期は5点入選）。こうしてキャリアを重ねながら、志を同じくする仲間との合宿や勉強会を通して切磋琢磨してきたことが今回の入選に繋がったと言える。

コンペに挑戦する意義について聞くと、「僕たちは資格のない仕事なので、お客様目線でカメラマン選定の基準を考えた時、『こういうコンテストで賞をとりました』と言うのが一番わかりやすい基準になると思います。国内のコンテストも沢山

あるんですけど、説得力が違うと思います。それと、少し前に国内のコンペで金賞を頂いたことがあるんですけど、僕に関わって下さった方々にぜひ喜んで頂いたので、僕を選んで下さるお客様や周りの人たちの為にもコンペで高い評価をいただけるよう、今後も挑戦し続けたいと思います」と答えてくれた。

また、真骨頂である屋外撮影にについては、「どんな天候でも良い写真を撮る自信はあります。決して晴れがベストコンディションではありません。晴天だと影がきつくなるし、曇りなら柔らかい日差しで撮影できます。新郎新婦がオッケーなら土砂降りの雨でも撮影します。とにかく難しい条件であればあるほどテンションが上がるんです。そして、厳しい条件をクリアした時の達成感は格別です。そして、信条としているのが『さすがプロやな、と唸らせる圧倒的な写真を創りださないとお金をいただく価値はない』です」という。

この春、待望のスタジオ「TRadox（トラッドボックス）」を松山市にオープンさせた。コンテナを組み合わせた独特の建物で、中央に位置するスタジオ部分は、7メートルの吹き抜けになっており、天井近くにあるキャットウォークを使って様々なアングルからの撮影が可能だ。その他に、小スタジオ、フィッティングルームなどを完備する。

自ら「そろそろ次の世代へつない

でいかないといけない立ち位置」というように、スタジオは貸し出しを前提に設計されていて、自身の人脈を生かした質の高い最先端のセミナーやワークショップを開いて若手育成を積極的に展開したい考えだ。

最後に今後について聞くと、「カメラマン同士がオンラインでもオフラインでも繋がれる有料のコミュニティをつくりたい」と言う。言い換えると、ウェブ上でも「TRadox（トラッドボックス）」を実際に使って有益なコンテンツを利用出来るコミュニティをつくること言うことのようなのだ。

また、大手衣裳店と共同で高級路線のウエディングパッケージを売り出す予定で、質の高い婚礼写真を欲するターゲット層に照準を当てていく。市場としての「ウエディング写真」は縮小傾向にあるものの、明確なコンセプトと高い技術で勝負すれば差別化が図れ、充分勝算はあるという。

※1) WPPI (Wedding & Portrait Photographers International) は、毎年ラスベガスで行われる、プロフォトグラファー向けコンベンション&トレードショーで、本年度で38回目の開催を誇る、プロフォトグラファー向けにおける全米最大のコンベンション

※2) 競争、競技、競技会の意。

※3) Asia WPA (ASIA Wedding Photographers Association) はアジアを代表する結婚式の写真家組織



スタジオの内部



WPP I 入選作品



大手衣裳店とのコラボブランド

プロフィール／宇和島市出身 1972 (昭和 47) 年生まれ NIKON プロフェッショナルサービス会員／SONY プロサポート会員

TRadbox 松山市久米窪田町 392-4 E-mail : info@tradbox.studio

特集 宇和島と映画

時代劇の父 伊藤大輔生誕120年



ディレクターズチェアの伊藤監督 20代 1927年頃

かつて、数多くの映画が宇和島で撮影され、宇和島駅が「映画スターが降り立つ駅」といわれた時代があった。

映画館も最盛期には10館を数え、宇和島は映画文化薫る街だった。

今年は、宇和島出身の映画監督、伊藤大輔生誕120年にあたり、郷土の映画史に造詣の深い田部司氏の監修のもと、宇和島と映画の関わりについて特集する。

伊藤大輔は、明治31（1898）年10月13日、宇和島市元結掛で生まれた。松山中学を経て、呉の海軍工廠の製図工などいくつかの職を経験したのち上京。大正9（1920）年に松竹キネマが小山内薫を所長に開校した俳優学校に学び、映画界入り。同13（1924）年、わずか26歳にして『酒中日記』で監督デビュー。時代劇に初めて社会意識を吹き込み、人間をリアルに描いて芸術性を高めたことで、その後の時代劇映画の原点を創ったとされ、のちに「時代劇の父」といわれた。

昭和初期、大河内傳次郎との名コンビで数々の名作を発表。話術の妙と躍動する映像美で大衆の心を魅了し、なかでも不朽の名作『忠次旅日記』は日本映画史上のベストワンと永く語り継がれている。戦後の代表作に『王将』『下郎の首』『反逆児』など。昭和56（1981）年7月19日没（83歳）。

宇和島市では平成5（1993）年から現在まで、不定期ながら市民有志による「伊藤大輔映画祭」が開催されている。103歳の誕生日にあたる同14（2001）年には、生誕地跡（元結掛児童遊園）に、日本映画界における氏のはたした業績を顕彰するため、市民有志と映画関係者・ファンによる記念碑が建立された。

文：田部 司
写真提供：磯田啓二
田部 司



伊藤さんと私



晩年の伊藤さん 京都御室の自宅庭にて 1960年代

私が初めて伊藤大輔という人に興味を持

ったのは、昭和62(1987)年に京都の「東映太秦映画村」を観光しており、「映画の殿堂」という日本の映画芸術について歴代の映画人たちの顕彰コーナーを見学したのがきっかけだった。「日本映画の父・牧野省三」らに続く最初の方に、「伊藤大輔、宇和島市出身」と紹介されているのを目にした時は衝撃が走り、ついで大きな喜びが溢れてきた。

思い返してみると、小、中学生時代の私は学校へ行くより映画館の椅子に座っていた方が多い「映画が学校だった」世代である。昭和30年代後半、時代劇映画の主流だった東映時代劇は衰退し、任侠映画が台頭するなか、伊藤大輔、田坂具隆

今も映像が浮かんでくる。

太秦で興味を覚えてから、伊藤さんの生い立ちなど地元で何か資料はないかと探したがほとんどなく、そこで、まず伊藤さんの関係者に会ってみようと思いいち調べると、伊藤監督とは13歳違いの夫人の朝子さんが、当時82歳で京都にお元気でおられることがわかった。京都で朝子夫人にお会いすると、非常にハッキリした物の言い方をされる聡明な方で、伊藤さんにとっては二度目の奥様だったが、京都で50年以上仲睦まじく添い遂げられたことも知らされた。

夫人にお聞きすると、伊藤さんの資料や遺品のすべては京都府立京都文化博物館に寄贈されているということで同館を

内田吐夢といつた戦前からの三巨匠がそれぞれ独自の作風を競って健在だった。祖父から何となく宇和島出身であることを聞かされていた伊藤作品のなかでは『秘剣揚羽の蝶』『王将』※1など

※1) 伊藤監督により三度映画化され、昭和23(1948)年が阪東妻三郎主演、昭和30(1955)年の『王将一代』は辰巳柳太郎主演。私が観たのは昭和37(1962)年の三國連太郎版。同じ主人公、同じテーマでとことん追及するのは伊藤さんの特徴。

訪ねると、その3階の映像資料室のなかに「伊藤大輔文庫」というギャラリーがあり、当時の映像資料室長水口薫さんから多くのご教示を受けることができた。また、水口さんや朝子夫人を通じて、伊藤大輔研究家の人たちやオールド・ファン、映画人などとも交流の機会が得られた。

平成3(1991)年10月、樺崎に「宇和島市立歴史資料館※2」がオープンし、「運営委員」という形で参加した私は、開館準備期間に、宇和島は多彩な文芸家や芸術家を輩出しているにも関わらず顕彰されることは稀な土地柄であり、この際そうした人々を紹介したらと提案。他の委員の賛同を得て、作家の末広鉄腸、俳人・富沢赤黄男、画家・高島華宵らとともに、映画では日本映画の巨匠のひとりである伊藤大輔を取り上げ、「先哲顕彰コーナー」を開設した。

その翌年、平成4(1992)年秋の市民文化祭に市生涯学習センターから、宇和島出身の文化人にスポットを当てたイベントを何か、と相談を受けたのを機に、資料館の「伊藤大輔コーナー」開設と、前年伊藤作品の幻の名作『忠次旅日記』の一部が広島で発見されて、東京で復元公開

※2) 明治17(1884)年に建てられた擬洋風建築の旧宇和島警察署を解体・復元した建物を活用した資料館。



たなべ つかさ
田部 司

昭和25(1950)年生まれ
宇和島市出身
日本眼鏡技術者協会会員
シネマニア宇和島
タナベ昭館主宰
趣味：ひとり旅

された話題性も重なり、伊藤さんを市民に深く知ってもらう良い機会になると「映画と講演」の企画を提出した。



伊藤朝子さんと私(左)
伊藤さんの13回忌法要にて 1992年

この年は伊藤さんの13回忌が京都御室の蓮華寺で行なわれたが、同年秋に文化祭開幕イベントとして「伊藤大輔監督を偲ぶ映画と講演の集い」が開催され、映画『叛逆児』の上映と、幻の『忠次』フィルム復元に携わった東京国立フィルムセンター※3の佐伯知紀氏の講演と特別ゲストに京都から伊藤朝子さんをお招きし、お話しいただいた。

その後は伊藤さんの生誕百年を迎えるにあたり、まだ全国で5都市でしか公開されていなかった『忠次旅日記』をメインにした映画祭を企画したが、『忠次』は

※3) 正式名称は東京国立近代美術館フィルムセンター。同館は、日本の映画文化を未来に継承することを目的に、古い映画フィルムや資料を収集している。今年(2018年)から「国立映画アーカイブ」となった。

じめ伊藤さんの名作は、ほとんどフィルムセンター所蔵作品であり、美術品でいえば、いわば国宝級の門外不出品。現在は比較的貸し出しが容易になったが、当時は規制が厳しくてなかなかOKにならなかった。

上映に関しては、回転数の異なる特殊なフィルムで普通の映写機では対応できない。また、無声映画なので音をどうするかという大問題があった。その難題は、大阪から映写機と映写技師を手配し、名古屋からはある活動弁士を迎えることで解決した。



生誕百年映画祭のポスター 1998年

映画祭のポスターには、とっさに私は「忠次、故郷に帰る!」というキャッチコピーを思いついた。もちろん、忠次の故郷は上州国定村で、宇和島ではない。

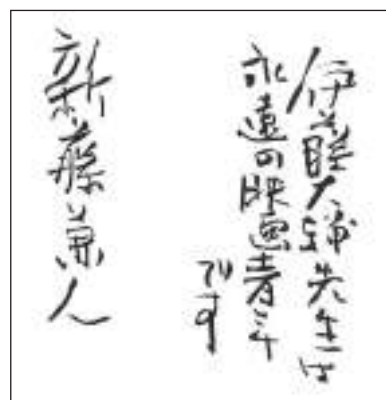
それは『忠次御用篇』のラスト近く「折からの月明に 夜を籠めて 一路国定村へ!」の有名な台詞に、中風となり病に倒れた忠次が、ボロボロの体を子分たちに担がれた戸板に横たえ、川を渡り生まれ故郷へと帰っていく、もともと抒情的なシーン。ゆえあって生涯一度も宇和島へ帰らなかった伊藤さんが、若き日の血と涙の結晶であるボロボロの欠落したフ

イルムをたずさえて、生誕百年を機に、お里帰りするというイメージをダブらせたものだった。

南予文化会館で行なわれた映画祭は、全国から400名を超える入場者が集まり盛況だった。この夜の「伊藤先生を偲ぶ会」には全国から伊藤ファンが駆けつけてくれたが、京都の佐々木章さんが、京都には伊藤さん没後三回忌に169名の有志によって建立した、伊藤さんの映画づくりの精神「熱願熱手」を表した追憶の記念碑がある。生誕地にも記念碑を考えてほしいという要望があり、検討することになった。ここではあえて詳細は省略するが、私としては建設用地や資金の問題などさまざまな難題を抱え、大事業になった。人は百歳で生まれ変わるといって、「生誕百年映画祭」から3年後、伊藤さんが生誕百年を超えた満三歳の平成14(2001)年の秋に、生誕記念碑がやっと完成することができた。その際に新藤兼人監督や



生誕記念碑竣工除幕式 2001年10月13日



新藤兼人監督から寄せられたメッセージ

吉永小百合、小林佳樹など多数の映画人諸氏から、協賛金とともに伊藤さんへの心あたたまるメッセージが寄せられた。

「時代劇の父」といわれる人が、たとえ幼年期までにして、我々と同じこの地で生まれ縁があったわけだから、それを大切にしたいというのが私の正直な気持ちで、多くの人の支援を得て記念碑が建立できたことは幸いだった。ある親しい方に「激しくて涙もろい。やさしくてさびしがり屋」とお聞きした伊藤さんに、我々の心がきつと届いたのではないかと強く思った。

それ以降、文化会館などで「伊藤大輔映画祭」と銘打ったイベント（井土つき上映画含む）を5回開催、また、生涯学習センターでの「宇和島名作劇場」でも数本の伊藤作品を上映しているので、平成4(1992)年から平成20年(2008)年までは、伊藤作品の上映は宇和島で度々行なわれた。

伊藤さんに続く愛媛の映画人

昭和2(1902)年に『忠次旅日記』の発表によって、伊藤さんは一躍名監督の仲間入りをするが、そこへ松山中学の同窓、伊丹万作や伊勢野重任(『国土無双』の監督・脚本コンビ)が食客※4となり、それに続いて、佐伯清、森一生、山本薩夫、大友柳太郎(朗)、黒田義之、大洲斉らの人たちが参集していく。愛媛県は現在でも映画監督の比較的多い県なのは、ある時代伊藤、伊丹という二大巨匠をめざした多くの郷里の若者たちがいたことに起因している。特に、伊丹については映画界入りから最期を看取ったのも伊藤さんであり、子息伊丹十三も多大な恩恵を受けている。

宇和島からは、伊藤さんに関わりのある浜田辰雄(美術監督)や玉島愛三(俳優)棚田吾郎(脚本家)、ついで轟夕起子や日高澄子(女優)、青野暉(監督)、伊藤文夫(撮影カメラマン)、楠葉宏三(アニメ作家、井上真介(監督)、志賀圭一郎(俳優)ら多彩な映画人を輩出した。平成29年(2017)年には、大阪の映画史家・山口博哉さんによって鶴城幼稚園(宇和島市)で「轟夕起子生誕100周年イベント」が開催されたが、今後もさまざまな企画が考えられると思う。今回の伊藤大輔映画祭では、こうした伊藤さんや愛媛ゆかりの映画人の特集上映となるので、ぜひ愛媛の映画文化の奥深さを感じ取ってもらえればと願っている。

※4) 客の待遇で抱えておく人。「しよっきやく」とも。

宇和島映画 映画が輝いていた頃の宇和島

◆ 相次いでビックスターが来訪

娯楽の中心として映画が輝いていた昭和30〜40年代には、映画館は宇和島旧市内いたる所にあり、宇和島周辺の町でも10館以上あって、当時はロケーションや実演なども盛んな土地柄だったから、多数のビッグスターが宇和島を訪れている。古い順にいうと佐野周二、淡島千景、美空ひばり、鶴田浩二、加東大介、原節子、小林旭、浅丘ルリ子、渥美清、高倉健、菅原文太、荻原健一というように。

私の人生のなかで全くの想定外というのか、最大の愛惜の念のひとつは、平成17（2005）年4月10日「宇和島シネマサンシャイン」閉館により、宇和島から映画館が消えた日のこと……

5年ほど前から当店2階に、宇和島に関わる映画資料などを展示した「昭和館」というミニギャラリーを常設している。市外や外国からも徐々に訪れる人が増えている。特に外国人は、「昭和」というキーワードがお気に入りといったマニアックな人が目立つ。映画黄金期当時の宇和島はロケ隊がよくやって来たので、我々と同じ団塊の世代の人たちは、そうした思い出の映画の場所を歩きたいというわけ、いわゆる映画の聖地めぐりともいえよう。

宇和島および、その周辺を描いた映画は数多くあるが、大別すると「宇和島とその周辺を舞台にした映画」と「宇和島とその周辺をロケ地にした映画」に分けられる。代表的な作品のいくつかを二分類に沿って述べよう。

宇和島とその周辺を舞台にした映画

◆ 獅子文六原作の映画——『てんやわんや』と『大番』

敗戦後の昭和25年（1950）年3月20日に、四国巡幸の昭和天皇を埋立て直後の旧内港広場（現新町）へ市民がこぞつてお迎えした。その3ヶ月後の6月末には『てんやわんや』（松竹）の撮影クルーが来町。天皇行啓につぐ、戦後初の南予ロケーションに町は大いに沸いた。

宝塚歌劇出身の淡島千景の映画デビュー作。ヨーロッパ女優のような顔立ちや、ファッショナブルなでたちが評判をよんだが、新しい自由な時代の空気も津島町の人たちに強烈な思い出となっている。作家の獅子文六※5）が津島町で約2年間過ごした体験を題材に書いた同名小説が原作で、旧東小西家（現大畑旅館）や岩松商店街、近家などで撮影が行なわれた。ちなみに、美術監督・浜田辰雄は母親

※5） 1893〜1969 小説家。演出家。本名：岩田豊雄。フランスで演劇を学び帰国後、戯曲や演出、評論などに力を注ぐ。太平洋戦争直後、2人目の妻富永静子の郷里である現在の宇和島市津島町に疎開し、そこでの見聞・体験を元に作品を発表。



主演の淡島千景と佐野周二 市営闘牛場（和霊土俵）ロケ

の出身地であり叔母の在住した第二の故郷宇和島へは数回訪れており、天神町の木彫家・河野一水との交流は有名。同映画のロケハンにも河野さんが加わり、旧市内の和霊土俵や神田川神宮寺付近でも撮影されているが、タイトルロールの最後には河野さんの「牛鬼一刀彫り」がバッチリ登場している。

津島を有名にした『てんやわんや』に続き、文六原作の宇和島の名前をいち早く全国区にした『大番』（昭和32年／東宝）では、吉田町や津島町など南予周辺でもロケーションされた。淡島は『大番』にも引き続き主人公ギューちゃん（加東大介）の彼女という重要な役どころを演じたが、



ギューちゃん（加東大介）と令嬢可奈子（原節子）『大番 青春篇（第1部）』から

東京でいつもギューちゃんを待っているという役設定のため南予ロケには参加していない。

『大番』は4部作あり、1〜3部までその都度ロケ隊が来宇したが、第4部にあたる完結篇（昭和33年）だけ宇和島ロケは行なわれていない。最後にロケがあった第3部で、「永遠のマドンナ」原節子が宇和島駅に初めて降り立った時には、大ファンを巻き起こしたとか。夫役の平田昭彦とともに津島町近家付近で撮影されている。

昭和32（1957）年、小説・映画のブ

ームに便乗して銘菓「大番」※6 が誕生した。いずれも映画化、テレビ化された『てんやわんや』『娘と私』『大番』『海軍』など宇和島や南予を描いた獅子文字はもつと再評価されていいし、町おこしの要素もいっぱいあると思う。

◆全篇宇和島ロケの映画『南海の狼火』

宇和島ロケの作品は戦後に限っても10数本ある中で、全篇宇和島ロケといえるのはこの『南海の狼火』(昭和35年/日活)しかなく、当時の風俗・歴史を知ることができる貴重な作品。監督の山崎徳次郎日活社員だった吉満屋功の二人が宇和島出身であり、宇和島人の情熱がこもった作品といえるかも。



宇和島城デートの小林旭と浅丘ルリ子

※6) 約60年前、当時の市長の発案から生まれたお菓子で、映画でのグーちゃんスタイルが包装紙に使われている。

ケードも懐かしい。宇和島城は、『大番』ではグーちゃん(加東大介)と芸者役の青山京子が寄り添うカットが撮られ、宇和島ロケ作品では必ず描かれる定番のデートスポットだった。

さらに、宇和島花街の最後を飾った築地の料亭「東雲」のネオン看板や、宇和島自動車恵美須町営業所の車輪がクルクルと回ってバスが走っているように見えるネオンの外灯も、宇和島のあの時代の象徴として超ノスタルジックだ。

“夜がまた来る思い出つれて...”の名曲『さすらい』※7 はこの映画から生まれたし、和霊公園の特設やぐらでアキラが『宇和島音頭』を唄うシーンもあって、今でも宇和島の観光PRに活用できるのでは。

津島町の人たちが『てんやわんや』、吉田町の人たちは『大番』が一番好きなのに、宇和島のある時代の人たちにとても思い入れの深い大好きな宇和島の映画であることに間違いはない。昭和時代、宇和島ロケに來たほとんどのスターが物故者となるなか、この映画の主演トリオ、小林旭、浅丘ルリ子、穴戸錠がいまだ健在なのもうれしい限り。

◆喜劇映画のなかの宇和島

◆『喜劇 団体列車』と『トラック野郎 天下御免』

世界最長、松竹の「寅さんシリーズ」は昭和44(1969)年に始まったが、その2年前「列車シリーズ」の第2弾とし

※7) 敗戦後、フィリピン・ルソン島南部のギハロ刑務所に収容されていた元日本兵たちが、日本への望郷を謳った『ギハロの浜辺』が原曲。

て渥美清主演の『喜劇 団体列車』(昭和42年/東映)のロケが宇和島を中心に行なわれた。渥美が宇和島入りしたのは、この時が初めてだが、昭和37(1962)年テレビ版『大番』で主人公のグーちゃんを演じているから、もともと宇和島とは縁があったというわけである。宇和島駅前、商店街、宇和島南高校や石応、大浦などで撮影されている。



宇和島南高校ロケの佐久間良子と渥美清

石応の段畑で、渥美が肥ツボに落下するシーンに使う肥ツボ製作に苦労したというのは、当時の市観光課係長片山慶一さんから直接聞いた話。その折、佐久間と渥美を冷やかす悪童三人組の筆頭として出演したのが、山下汽船の創業者・山下亀三郎※8の本家筋、吉田山下家12代当主の山下重蔵さん(68歳 吉田町)で、当時宇和島南高校へ在学中だった。なお、挿入歌の『駅弁小唄』は宇和島出身の音楽家和田香苗が作曲した。渥美が国鉄職員を演じるこのシリーズは、『男はつらい

※8) 1867 ~ 1944 年 現宇和島市吉田町喜佐方出身で山下汽船(現・商船三井)・山下財閥の創業者。本誌 No.3 夏号に特集。

よ』で、寅さんが毎回マドンナにふられる悲喜こもごものストーリーの原形が感じられる作品でもあったようだ。

渥美の寅さんシリーズに対抗して、鈴木木則文監督と『仁義なき戦い』で大スターとなった菅原文太とのコンビでつくられた喜劇「トラック野郎シリーズ」。その第4作『天下御免』(昭和51年/東映)は宇和島が舞台で、ロケには菅原文太、愛川欽也、杉浦直樹、マツハ文朱らが参加して、市内では丸山の市営闘牛場や須賀川ダム、愛南町では深浦漁港や西海有料道路がロケ地になっている。このシリーズは好評のため10作品つくられたが、うち9作品を宇和島出身の井上真介※9が助監督で加わっている。



ファンに気軽にサインする菅原文太 須賀川ダムにて

当時あった天救園ホテルに主要スタッフとキャストは3日間滞在。ロケ当時、天救園前で「珈琲館伊達」を経営していた同級生の山岡仁(68歳 松山在住)によると、スタッフの休息所代わり店が使

※9) 1948 ~ 監督・脚本家 日本大学芸術学部映画学科卒業後、NHKドラマAD、松竹テレビ助監督を経て、1974年東映東京撮影所助監督として契約。1981年、中島丈博プロ『夏の別れ』で監督デビュー。2019年公開、脚本監督の新作『BUGSバグズ』撮影中!

われ、夜中の1時、2時まで貸切状態で、菅原や愛川欣也らはウイスキーなどを飲んでいたらしい。朝は5時頃からロケ隊が出発するので、それより早く店を開けて朝食を作ったりして協力したそうだ。

宇和島とその周辺を ロケ地にした映画

◆任侠映画のなかの宇和島——
健サンの『新網走番外地 流人岬の血斗』と『日本侠花伝』

今春（2018年）脱走犯騒ぎで有名になった松山刑務所大井作業所の開設は昭和36（1961）年というから歴史は古い。「再建王」の異名を取った実業家・坪内寿夫氏が所有していた造船所（現：「新来島とつく大西工場」）内に、松山刑務所と協力して日本で唯一の「塀のない刑務所」を作ったことが原点。坪内氏は四国内に坪内チェーンといわれる映画館チェーンを築き、奥道後の開発にも力を注いだ実業家でもあった。

この塀のない刑務所の実話を村尾昭がシナリオ化して任侠物に仕上げた『新網走番外地 流人岬の血斗』（昭和44年／東映）。したがって、名優志村喬が演じた人物は坪内氏がモデルで、町の悪徳ボスにドックを爆破されたり、志村や仲間が刺されたり妨害されたため、任侠映画※10らしく最後は健さんの殴り込みということになる。ここで、突如和霊様の夏祭りとなり花火が上がる。今治ロケで地元キストラたちと東映スタッフが揉めたため、同じような港町である宇和島で急遽

※10) 鶴田浩二主演『人生劇場 飛車角』（昭和38年／東映）の大ヒットでブームを巻き起こした東映任侠映画は、昭和40年代「任侠」から「実録」まで東映が邦画各社をリードした。それは、鶴田浩二という稀有な俳優の存在を抜きには語れない。

内港の棧橋を使ってエンディング・シーンのみ撮影された※11。



健さんが網走へ再護送されるラストシーン 内港棧橋ロケ

加藤泰脚本・監督の『日本侠花伝』（昭和48年／東宝）は大正時代を背景に、真実の愛を求めて激しく生きるヒロイン近藤ミネを真木洋子※12が熱演。

昭和47（1972）年から翌年にかけて放送されたNHK朝の連続テレビ小説『藍より青く』で健気な戦争未亡人を演じた真木洋子が、同監督により抜擢されイメチェンに成功したが、主人公ミネが宇和島出身という設定は、おそらく加藤監督が生涯私淑した伊藤大輔監督へのオマージュともいえる。

ミネが別府から航路で宇和島港へ向かう映像に、「船がむこうに着くのはふるさとの和霊祭りの24日の夜である」とテロップが流れるところは宇和島の人には感動的。前半に宇和海の眺望や、宇和島の象徴として牛鬼が登場する場面もあ

※12) 1948～2000年 映画・テレビ・舞台で活躍。
平成12（2000）年7月、急性骨髄性白血病のため死去（51歳）。

※11) 平成2（1990）年8月、高倉健が映画撮影の縁で松前町出身の坪内寿夫氏の招きで義農神社を訪れ、桜の木を植樹して話題になったことが、高倉没後新聞紙上で知らされた。

る。かつて私が伊藤大輔夫人朝子さんからお聞きした話では、松山が女性的なイメージに対して、宇和島は「牛鬼」や「闘牛」に代表されるように、男性的なイメージの強い町であると語られたそうだ。

◆山の民を描いた『瀬降り物語』

独自の文化と生活風俗を持つ流浪の民山窩をテーマにした中島貞夫監督執念の映画『瀬降り物語』（昭和60年／東映）。山の民を描く映画のため、原生林の残る滑床の山中にプレハブ宿舎を建てて長期間こもり、スタッフ・キャスト全員が山の民となり追体験をしながら映画製作を行なうというユニークな方式がとられた。従って、宇和島東高校出身の丸平峰（峯）子※13や西条出身の野口貴史らは出演者兼スタッフとして中島監督と共同生活。

北宇和郡松野町が全面的にバックアップしたこの映画には、大介うどんの上田一介氏や宇和島漬物の武田弘忠氏らが多大な貢献をした。当時、宇和島青年会議所の平河平治さん（67歳新町）は、主演のショーケン（萩原健一）に松山空港の迎えからロケ先の旧三崎町や松野町への運転など度々頼まれたという。「オーラが違った。歓迎レセプションなど人前には一切出なかった」と「稀代の個性派」について話している。

写真は、昭和60（1985）年4月10日の試写会の模様で、瀬降り※14のセット

※14) かつて箕作りを主な生業に漂泊の旅を続けたサンカたちが行く先々の川原に張った天幕（テント）のこと。

※13) 本名：清家知子 昭和15（1940）年宇和島生まれ。宇和島東高校卒業後、東映京都入社。「女川谷（拓三）」といわれるほどアクの強いバイプレーヤー。



宇和島東映『瀬降り物語』試写会 背景は「瀬降り」のセット

を前に出演者や宇和島東映スタッフの記念撮影。前列右端から丸平峰子と河野美地子（ミス映画村）、一人おいて中島貞夫監督。後列右から三人目・野口貴史は、同映画でも共演している室田日出男や高知県安芸市出身の川谷拓三らとピラニア軍団※15メンバーだった。室田はこの後、平成7（1995）年のNHK新銀河ドラマ『婚約旅行』でも来宇して市内平浦でのロケに姿を見せた。

『瀬降り物語』は「ベルリン国際映画祭」に出品されたり、宇和島では藤田弓子や早乙女愛らが出席した歓迎レセプション（昭和59年5月17日錦会館）や、宇和島東映での試写会等で話題を集めたが、全国的に興業はふるわなかった。

文：田部 司
写真提供：上田一介 河野愛子
善家利男 三好明子

※15) 東映所属の大部屋男優を中心に昭和50（1975）年に結成された、映画・テレビドラマで切られ役、殺され役を演じた俳優たちの総称。

の宇和島映画館マップ

ニチゲキ(宇和島日劇)

現在地：丸之内 5-2-21
撮影：昭和 41 (1966) 年



昭和 30 年代、東映や東宝の旧作を上映、わびしい場末感ただよう映画館で狭い二階席もあった。後には洋画がかけられたが、昭和 47 (1972) 年に閉館した。左隣は「あかたん」というカウンター席だけの小さな大衆食堂。右隣は、同 35 (1960) 年頃までに埋め立てられたが、それまではポンポン船がつながれていた内港の一部だった。

マカロニウエスタン映画『夕陽のガンマン』公開で、ニチゲキ前に勢ぞろいしたガンマンたち。劇場従業員がガンマンに扮して街中をパレード。

シンゲキ(新栄劇場)

現在地：恵美須町 2-4-23
撮影：昭和 32 (1957) 年



昭和 24 (1949) 年頃恵美須町に登場し、最初は「B 級洋画」とよばれるフィルムの安い作品、その後は邦画各社の作品を再映していた劇場。同 31 (1956) 年前後には、三橋美智也や三波春夫なども歌謡ショーの実演で来館した。同 33 (1958) 年には閉館したので、10 年しか持たなかった。映画『ローマの休日』キャンペーンで、ヒロインに扮したモデルの女性をスクーターに乗せるシンゲキマネージャーの三好悦雄。右の男性は宇和島出身の音楽家で「ご当地ソング」の先駆け『新宿ブルース』やアニメソングで有名になる和田香苗。

麒麟館

現在地：御幸町 2-5-1
撮影：昭和 47 (1972) 年



同館の歴史は古く、旧須賀川新大橋のたもとに大正 12 (1923) 年に活動常設館(映画館)として開設されたが、昭和 20 (1945) 年空襲により焼失した。戦後の麒麟館は同 24 (1949) 年、同地に再建され、同 40 (1965) 年頃は主に大映映画、時にアンチメジャーだった「新東宝」「大蔵映画」など良性感度を高める作品群もかけられた。

劇場左角の「麒麟食堂」に並んだ 4、5 軒の屋台で、ラーメンかチャンポンを食べて帰るのが、映画を観た後の楽しみだった。大映倒産にともない、同 45 (1970) 年 4 月に幕を閉じた。

思い出のロケ地 ② 「南海の狼火」1960 日活

■映画に登場したお店
・丸常洋品店・ニッタ洋服店
・丸の内パチンコ

思い出のロケ地 ①

「大番」1957 東宝
「南海の狼火」1960 日活
「団体列車」1967 東映
「北の家族」1973 NHK

宇和島東映

現在地：中央町 2-3
撮影：昭和 44 (1969) 年



「時代劇の東映」の直営館として昭和 30 (1955) 年開館、40 年代は任侠映画のオールナイト興業で大盛況。市内映画館減少にともない、唯一の邦画封切館として平成 9 (1997) 年末まで頑張っていたが、惜しくも 42 年の歴史に幕を下ろした。

写真は『夢のハワイで盆踊り』公開。アロハ姿もさわやかな劇場スタッフ。主演の本間千代子(看板左端)は、東映で育ったただ一人のアイドル。

和霊座

現在地：和霊東町 3-2
撮影：昭和 46 (1971) 年



和霊中町から通称「ガード下」を抜けたすぐ右の小路を入ると、芝居小屋らしい建物が目に入った。これが本当に劇場だったとい

うことは、かなり経ってから知った。昭和 20 年代初めオープンし、芝居・浪曲・講談の上演の他、映画は「新東宝」や「大映」の旧作を「つばめ座」と両館掛け持ちで夜だけ上映していた。つばめ座同様、昭和 33 (1958) 年頃閉館。

つばめ座

現在地：山際 3-1-9
撮影：昭和 48 (1973) 年



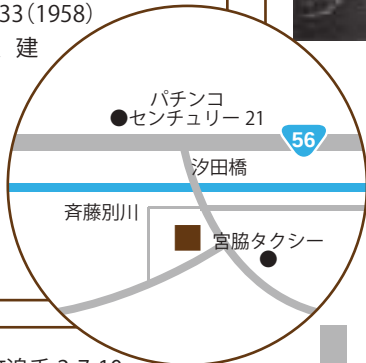
昭和 24 (1949) 年に建てられた、名前通り芝居小屋からスタートして映画館になった劇場。邦画の旧作を夜だけ上映しており、たしか 30 円で 5 本立てという新聞チラシを見た記憶がある。写真は、同 33 (1958) 年に閉館後、建物再利用で「宇和島衣料市場」となり、それも閉業した頃のものだが、「衣料市場」の看板の上にある、劇場時代名残りの「ツバメマーク」も色褪せて泣いている。

松竹マルゲキ

現在地：中央町 2-5
撮影：昭和 38 (1963) 年



昭和 12 (1937) 年内港に建設以来、43 年の歴史を持つ映画館。開館当初は宇和島名所絵葉書になるほどシャレた洋館風の劇場だったが、戦災により焼失。戦前、戦後を通して一世を風びした「松竹メロドラマ」の封切館であった。マルゲキ解体後、昭和 43 年 (1968) 年から「丸の内百貨店」(後・フジ丸の内店) に小規模の劇場が併設され、同 55 (1980) 年まで営業を続けた。「新東宝ハンサムタワーズ」の菅原文太と高宮敬二が来演 (写真中央)。



日活菊美ど里劇場

現在地：本町追手 2-7-10
撮影：昭和 45 (1970) 年



昭和 30 ~ 40 年代、石原裕次郎や小林旭のアクション映画で人気を集めた日活直営館。昭和 46 (1971) 年には洋画のロードショー劇場に変わったが、同 60 (1985) 年 12 月火災により焼失。大正 4 (1915) 年からの長い歴史にピリオドを打つ。宇和島で初めての活動常設館 (映画館) とされる「鶴島館」が前身。昭和 13 (1924) 年に「中央キネマ」、のち「中央劇場」へと次々改称し、同 33 (1958) 年から「日活菊美ど里劇場」になった。

スバル座

現在地：本町追手 1-8-18
撮影：昭和 40 (1965) 年



明治 18 (1885) 年開館。歌舞伎の優れた回り舞台があった芝居小屋「融通座」から、洋画専門の映画館「スバル座」に衣替えしたのは昭和 31 (1956) 年。外観はほぼそのまま、内部をしっかりと映画館席に改装した。館内は、中央部から後方座席にかけてひな壇のように徐々になくなっており、壁面の左右 4 ヲ所、下から 3、4 メートルの高い位置にボックス型の特別席もあった。同 40 (1965) 年には閉館し、以降「宇和島ボウル」(ボーリング場)、「ロマン座」「スバル座」の二つのホールを有するポルノ映画専門館を経て、平成 3 (1991) 年から宇和島シネマサンシャインに。宇和島最後の砦、3 スクリーンあった同館も、平成 17 (2005) 年 4 月 10 日ついに幕を閉じ、映画館はわが町から消えた。

思い出のロケ地 ④
「南海の狼火」1960 日活
「団体列車」1967 東映
「婚約旅行」1995 NHK

ロマン座

現在地：中央町 1-4
撮影：昭和 45 (1970) 年



昭和 35 (1960) 年、芝居小屋だった「中座」を商店街の客寄せのため「袋町共栄組合」がロマン座映画館に貸し付けたのが始まり。洋画の B 級や再映が多かったが、同 50 (1975) 年まで 16 年間続いた。終わり頃にはピンク (ポルノ) 映画専門館だった。

思い出のロケ地 ③
「離婚旅行」2003 TBS 系

お城山

商工会議所 パスセンター

愛和幼稚園
丸之内
和霊神社

愛媛新聞

袋町商店街
木藤時計店

宇和島
信用金庫
木屋旅館

野中かまぼこ

市立図書館

宮脇タクシー

斉藤別川

パチンコ
センチュリー 21

汐田橋

朝倉鍼灸整骨院



吉田町東小路甲 83-1
TEL.0895-52-4855
定休日：日・祝・祭日
営業時間：9:00～12:30
15:00～19:30



あさひやクリーニング



吉田町立間尻甲 2088-5
TEL.0895-52-1236
定休日：日・祝・祭日
営業時間：8:30～18:00



伊藤水産



吉田町奥浦
TEL.0895-54-0548



7月の西日本豪雨災害では、宇和島市吉田町を中心 to 甚大な被害を受けました。多くの尊い人命が奪われ、基幹産業のみかんをはじめ地域の産業・経済に大きな打撃をあたえました。本号では復興へ向けて歩を進めようとされている吉田の事業所をご紹介します。

がんばってます！

吉田

花岡造園



吉田町大字北小路甲 114
TEL.0895-52-4517



お菓子工房 nico(ニコ)



吉田町立間尻甲 1802-49
TEL.070-2632-7147
定休日：木・第3日・月
営業時間：10:00 ~ 18:00



(株)フレッシュつちやま



吉田町白浦 210
TEL.0895-52-4703



カットハウス ガルーダ



吉田町立間尻甲 1802-49
TEL.0895-52-0216
定休日：月・第3日
営業時間：8:30 ~ 19:00



(有)南四国ファーム



吉田町沖村甲 612-1
TEL.0895-52-0330
〈ホームページ〉
<http://www.kinahiya.jp>



河野鮮魚店



吉田町東小路 155-2
TEL.0895-52-0155
定休日：なし
営業時間：8:00 ~ 20:00



撮り歩きなんよー吉田秋の三景ー

アマチュアカメラマン北濱一男が撮りためた南予の風景



「大乘寺の紅葉」

吉田町立間にある玉鳳山大乗寺は、吉田藩伊達家3万石の菩提寺で四国唯一の臨済宗の専門道場(僧堂)です。

秋には紅葉と苔、黄色に色ついた大銀杏目当てにカメラマンや多くの人々が県内外から訪れます。

先の西日本豪雨により立間川が氾濫したと聞いて心配になって行ってみると苔は泥水で全滅していて、老師も肩を落されておられました。苔はすぐには元通りにならないでしょうが、せめて美しい紅葉が観られるようお願いばかりです。

「立間の鹿踊り」

11月3日の秋祭りに奉納される鹿踊りは伊達秀宗公の宇和島入部に合わせて仙台から伝わったと言われています。

宇和島は八ツ鹿なのに対し、吉田が七ツ鹿というのも、宇和島藩への配慮かも知れません。立間の鹿踊りは雄鹿が二頭、雌鹿が一頭、若鹿が二頭、子鹿二頭の七ツ鹿で力強さの中に優しさのある踊りです。

「吉田町のだるま夕日」

「だるま夕日」と言えば宿毛市が有名ですが吉田町から愛南町まで、「だるま夕日」を



北濱 一男 アマチュアカメラマン

1945 年生まれ 宇和島市在住
 学生時代からカメラをはじめるが、本格的な写真歴は約 20 年。
 現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。
 撮り歩きなんよ（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>



撮影出来る所があります。
 吉田町から見える夕日は九州の向こうに沈むのですが「だるま夕日」になると九州が消えてしまうのですから不思議です。一見見たら感動すること請け合いです。
 言葉で説明するのは難しいのですが浮島現象になるような日で、太陽が海面近くまで降りると確率が高いようです。
 写真は、吉田町深浦で撮影した「だるま夕日」です。自然現象なので、その日の天気次第です。毎年11月と2月には、多くの三脚が並びます。皆さんも一度「だるま夕日」を撮影してみませんか。

● 響き合うしらべ 無常と情熱 琵琶の夕べ

今回で 14 回目をむかえる堂崎観音寺の「琵琶の夕べ」が開催されます。

と き：9月30日(日) 午後6時30分～

と ころ：観音寺境内(宇和島市石応 1351)

料 金：1,000 円

お問合せ：観音寺(山崎) Tel.0895-28-0051



川村 旭芳(筑前琵琶・語り)

神戸市出身在住。筑前琵琶日本会総師範故二代柴田旭堂師のファンだった母の勧めで8歳の頃、師に入門。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組み、阪神・淡路大震災の追悼曲はじめ、母 川村素子の作詞による作品も発表。



中澤 秀治(フラメンコギター)

フラメンコギターの巨匠、パコ・デ・ルシアの演奏に大きな衝撃を受け、自身の結成するロックバンド解散を機に、フラメンコギタリスト 木越剛氏の門下となり、舞踏伴奏とソロを中心に学ぶ。

おしらせ

● おかえりコンサート 2

2015 年の「宇和島伊達 400 年祭」を機に、音楽の力で子どもたちの笑顔と地域を元気に！とスタートした「おかえりプロジェクト」。あの感動を再びとの待望の声とアーティストによる復興への願いが昇華し、来年 1 月に「おかえりコンサート 2」を開催いたします。

出演
予定

花れん、大石昌良、中川奈美
遠藤百合、扇谷研人ほか



と き：1月20日(日) 「ありま三なこ」も参画！

と ころ：南予文化会館



主催 / 音楽の力で うわじま発信「おかえり」実行委員会

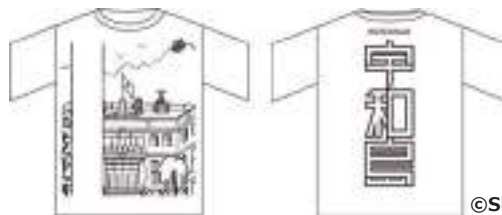
● 大竹伸朗氏の復興支援 T シャツ 「宇和島チャリT」販売！

寄贈分
完売後も販売
は継続し義援金
として寄付
されます。

宇和島市在住の芸術家 大竹伸朗氏が平成 30 年 7 月豪雨被害の復興支援を目的としたチャリティー T シャツ「宇和島チャリT」1,000 枚を宇和島市に寄贈し、売上金の全額(消費税等を除く)を義援金として寄附する。販売元は「道の駅きさいや広場」。電話注文も受け付ける。T シャツは、白地に黒のプリントで前面には旧宇和島市役所庁舎と宇和島城が描かれ、背面には大竹氏オリジナルフォントで「宇和島」の文字が縦に大きく配置されている。

サイズは S ～ 4 X L、販売金額は 3,240 円(税込)

きさいや広場ホームページ <http://www.kisaiyahiroma.com/>



©Shinro Otake

お問合せ先：きさいや広場 TEL.0895-22-3934

● 宇和島東校 OB チーム出場!! 第 15 回マスタース甲子園

応援
に行きま
せんか

会 期：11 月 11 日(日) 試合開始 午前 8 時～
場 所：甲子園球場(入場無料)

今回、愛媛県代表として宇和島東校 OB チームが出場する「マスタース甲子園」とは、全国の高校野球 OB が、性別、世代、甲子園出場の有無、元プロ等のキャリアの壁を超えて出身校別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球

の原点でもあった『甲子園球場』で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするものです。



昨年の大会には、宇和島東校チームを主体にした愛媛選抜チームが出場(今年は単独出場となる)。

マスタース甲子園オフィシャルサイト
<http://www.masterskoshien.com/index.html>

● 第 15 回宇和島名作劇場 時代劇の父 伊藤大輔生誕 120 年記念映画祭

「伊藤大輔とゆかりの映画人」

〈伊藤大輔〉…『忠次旅日記』『斬人斬馬剣』『長恨』(活動弁士付き上映)
『弁天小僧』『叛逆児』

〈伊丹万作〉…『国士無双』 〈田中徳三〉…『眠狂四郎殺法帖』

と き：10月20日(土)午前9時05分～ 10月21日(日)午前10時30分～

と ころ：宇和島市生涯学習センター(宇和島市堀端町 1-25)

入 場 料：500 円

お問合せ：伊藤大輔映画祭実行委員会(メガネのタナベ袋町店内) Tel.0895-22-3557





丘の白い洋館 【昭和 47 (1972) 年 愛宕町】

追手通りから大樓通※1の坂を登り
詰めた突き当たり、本瓦の屋根、白
亜の壁面にアーチ窓を配して、開閉式
玄関扉のオシャレな明治時代に建てら
れた擬洋風の建物があった。その白い
洋館は、この辺りのシンボルのように
目立っていた。今は、写真の道の左側
と突き当たり部分が愛宕町2丁目、右側
が賀古町1丁目と分かれている。
近くに戦前からお住まいの唐沢恭三
さん(92歳)によると、子どもの頃そび
え立つこの洋館を初めて目にした時「あ
つ、お城が見える」と思ったという。
子ども心には、両側の石垣の間に7段
もの石段がある豪壮な白壁の建物は強
烈に印象に残ったようだ。
調べると、洋館はその昔は久松操法
律事務所兼住宅だった。昭和
16(1941)年に「市民共済会」の母
子寮となり、昭和40年代後半には賃貸
アパートとして使われていた。なお、
洋館が建っていた周囲が克蘭ク(枅
形)道路となっていたのは、城下町特
有の敵の侵入を防ぐためである。
旧藩時代からの賀古町は、長細い道
の両側にわたる街路区域。ジェイコー
宇和島病院とパール荘の間に挟まれた
通りだった。
大樓通から入ると両側に京都風の民
家が並び、溝に沿って石段があつて、
デコボコ状の壁面のスタッコ塀、瓦葺
きの門構えにゆったりした庭があつて、
イブキやキンモクセイがうつそうとし
ていたが、今は唐沢氏宅側の左の通り
のみパール荘手前までそうしたお屋敷
町の名残があり、右側は、長いコン

※1)「おえのきどおり」または「おおえのきどおり」伊達家入府前、ここに植えられた榎がのちに大榎になった、ということから。

クリート塀が延々と続くジ
ェイコー宇和島病院の裏側
部分である。
私は昭和25(1950)年
に、唐沢氏宅はす向かいの
右の通りの旧宅で生まれた
が、曾祖母が亡くなった三
歳頃には家族は佐伯町へ転
居したので家の記憶はまっ
たなく、父母のアルバム
に残る、長い土塀や玄関まで飛び石の
続く庭などのモノクローム写真や、そ
の頃を知る人たちに語り聴かされたに
すぎない。今ではこの一角ほとんどが
病院の敷地内になってしまった。
♪ふるさとに 一つの日帰る 屋敷町
ふるいあの町♪ 舟木一夫が歌った
『夕笛』※2を聴くたび、賀古町へのほ
るかな郷愁にとられるが、思い出と
は消え去ったことによつて逆に輝きを
増すのかもしれない。わが家の下隣は、
かつては情熱の漢詩人中野逍遙※3が
生まれ育った古びた黒っぽい家があ
ったという。亡くなった母の話では、
文学好きな学生や青年たちが「ここは
逍遙さんのお宅ですか」とよく間違え
てわが家に入ってきたらしい。
神田川の方の下つた賀古橋のもと
(賀古町1丁目)には、新興俳句の旗手
富沢赤黄男※4が旧制宇和島中学時
代下宿していた。賀古町界限は、宇
和島でわずかに残ったお屋敷町のた
たずまいとともに、中野逍遙や富沢
赤黄男が散策した文学ロマンの小道と
いえるのかもしれない。



写真・文 / 田部 司

※3) 1867～94 本名重太郎 南予中学、大学予備門より東京大学漢文科に進学。1894年、同科第一回の卒業生となる。同年秋、急性肺炎で病没。享年28。大学同窓に夏目漱石、正岡子規らがついて、島崎藤村は若すぎる死を悼んで「哀歌―中野逍遙をいたむ」を詠んだ。なお、同年生まれの子規は逍遙没後8年後に死去。

※4) 1902～62 本名正三 富沢礼中のひ孫で、新興俳句運動を展開。俳句に誌的可能性の限界を追求した言語芸術の天才。八幡浜市保内町出身だが、代々先祖は宇和島の人である。「草二本だけ生えている時間」「蝶落ちて大音響の結氷期」などが代表句として知られる。

※2) 西条八十 作詞
船村徹 作曲
昭和42(1967)年



【現在の様子】右側のブロック塀は当時のままのように見える

《セカンドステージ ホームゲーム》

- ◆第10節 10月14日(日)13:00
FC今治 対 コバルト・レ女川
- ◆第13節 11月4日(日)13:00
FC今治 対 東京武蔵野シティFC
- ◆第15節 11月18日(日)13:00
FC今治 対 ホンダロックSC

会場：ありがとうサービス・夢スタジアム
(今治市高橋ふれあいの丘1-2)

宇和島のサッカーが熱い！

ワールドカップロシア大会での日本代表の活躍も記憶に新しいところですが

2010年、宇和島高等学校のフットボールとして全国高等学校総合体育大会に出場し、優秀選手に選ばれた。また、同年の第89回全国高等学校サッカー選手権大会にも出場を果たした。

高校卒業後は高知大学へ進学して2012年、13年度にはデンソーカップチャレンジ中国・四国選抜に選ばれている。

2015年にJFLのソニー仙台FCに入団し、その年は10得点を獲得して新人王とベストイレブンのダブル受賞を果たし、ソニー仙台のJFL初優勝に貢献した。

2016年、17年にJFLの得点ランキングで2位となり、3年連続でベストイレブンにも選ばれ、今年、地元のFC今治に移籍した。

8月の末、お話を伺うため「ありがとうサービス・夢スタジアム」を訪ねた。この日も午前中から30℃を超える暑さの中、実戦形式の練習に汗を流していた。

「愛媛に帰ってこられたので、今治の方や宇和島の方から『おかえり』って言ってもらって、とてもうれしく思っています。今のところ、数字だけ見たら全然納得のいくような内容ではないんですけど、今シーズンもまだ残り10試合ほどあるので、そこでもっと点を取ってチームに貢献したいと思っています。今の目標は、とにかくJ3昇格※なんです。次の試合も力を出し切りたいと思っています。そして、故郷宇和島を含めた南予地域は、7月の豪雨で甚大な被害が出てい

るので、明るいニュースを届けるためにもJ3昇格をして、その中で僕が点を取って、『FC今治 有間潤』の名が報道されて、宇和島や南予の皆さんに元気が届けられるように頑張りたいと思います」と語る彼の眼は、しっかりと目標を見据え輝いていた。

※J3 昇格条件

- ① Jリーグ100年構想クラブに認定
- ② J3クラブライセンスの付与
- ③ Jリーグ入会を理事会で承認
- ④ JFLでの年間成績が4位以内かつ、100年構想クラブの上位2位内に入る
- ⑤ ホーム戦15試合の観客動員数が30,000人を超える

- ◆FC今治の年間順位 6位
- ◆有間選手の得点ランキング 10位
(9/17現在)

FC今治公式サイト
<http://www.fcimabari.com/>

宇和島南中等教育学校

女子サッカー 県総体優勝 → 四国大会3位



私たち宇和島南中等教育学校女子サッカー部は、感謝・礼儀・信頼の部訓のもと、前期生ではU15の大会で四国大会出場を、後期生ではインターハイ・高校女子サッカー選手権全国大会出場を目指し日々活動しています。

前期生は、初心者生徒も多くサッカーを楽しみながら練習に取り組んでいます。基本技術の習得を目指し、後期生につながる生徒の育成を心がけています。

10月に行われる第3回四国女子ユースサッカー大会愛媛県予選を突破できるように練習に励んでいます。

また、中学校で女子サッカー部がある学校は全国でも少なく、毎日サッカーができる環境も魅力の一つです。

後期生は、6月に行われた愛媛県総体で

宇和島東高等学校

男子サッカー 県総体優勝 → インターハイ出場



愛媛県総合体育大会決勝の対戦相手は今治東中等教育学校だった。同校は今年2月に行われた県サッカー新人大会の決勝で0対5で敗れた相手だ。

それから4カ月間、今治東を倒すためだけに必死に取り組んできた。毎週のミーティングに加え、映像で戦術理解度を上げた練習では筋力強化はもとより食事やプロテインなどで身体づくりも徹底した。

また、練習中の選手間の話し合いを増やし、様々なアイデアを共有し、サッカーを徹底した。そうした厳しい練習にも選手同士が鼓舞しあい、高め合ったおかげで、少しずつであるが成長していった。

迎えた決勝戦は先制点を取られ、難しい展開となったが選手たちは決して諦めることなく、2対1で逆転勝利を収めた。

今回優勝できたのは、選手たちの頑張りはもちろんであるが、マネージャー、スタッフ、保護者、OB、そして地域の方々の力が大きかった。応援バスの費用はOB会に支援していただき、保護者の呼びかけで、地域の小中学生など200名超の応援団が集まった。スタンドは宇和島東カラーの青一色に染まり、声援が途切れることはなかった。大げさかもしれないが、「宇和島の力」を感じた。

そこから2か月間更に鍛錬を積み、ベスト8を目標に臨んだ全国大会であったが、米子北に0対4で大敗し、全国のレベルの高さを知った。今までの技術や判断では全国で勝つことはできない。それを身をもって感じさせられた。

3年生にとっては最後のサッカー選手権

連覇を果たし、15回目の優勝をすることができました。

四国総体では、香川県代表の香川西高校に0対1で敗れ、インターハイに出場することはできませんでしたが、四国の強豪校と接戦をすることができたことは選手にとって大きな自信になったと思います。

宇和島市を含め、南予では小学校からサッカーをやっている女子も多く、その目標となるチームになれるように、9月から始まる高校女子サッカー選手権大会愛媛県大会では、3連覇を目指したいと思います。そして、10月の四国大会では、四国の厚い壁を破り、全国大会に出場できるように全力で努力していきます。

最後になりましたが、西日本豪雨により

大会愛媛県予選が、10月から始まる。またあの場所に帰るために更なる努力を重ね、より一層のレベルアップを図っていくつもりだ。

最後に、県総体、四国総体、インターハイにおいては、保護者や地域の方々、OB・OGの方々に多くの寄付やご支援をいただきました。豪雨被害で大変な中、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。頑張ろう宇和島！頑張ろう愛媛！



顧問 赤松 弘教



顧問 大塚 隆三

宇和島市でも甚大な被害を受けた地域も多く、復興に向けて頑張られているところだと思っています。サッカーを通して選手たちのプレーで復興に向けて励みになるよう頑張っていきたいと思いますので、ご声援よろしくお願いいたします。

災害時における健康管理

このたびの西日本豪雨災害で被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。平成30年7月7日、宇和島市は歴史的豪雨に見舞われました。吉田町を中心に受けた被害は甚大であり、死者11名、浸水害2000件、土砂災害15

00ヶ所、避難された方は最大で943名にのぼり、現在も避難所生活を強いられている方もおられます。

被災された方々は生活状況が一変することにより、多くの肉体的、精神的ストレスを受けます。また、今まで慢性疾患（高血圧、糖尿病、脳卒中など）で治療されていた方も管理の継続が困難となります。

避難所等に避難した場合、もとの疾患を周りの人や医療スタッフに知らせて下さい。

基本的には、いつもの常用薬剤を継続して下さい。薬やお薬手帳を紛失した場合には、なるべく早く医療スタッフに相談して下さい。最低限継続が必要な薬がある場合もあります。

普段の生活よりストレスが増えるため、禁煙を徹底して下さい。血圧をこまめにチェックし、水分を多めに摂取し塩分を控えて下さい。毎日30分程度は散歩

や体操などの運動を行って下さい。

避難所は感染症が集団発生しやすい環境です。食事前と排泄後の手洗いを忘れないようにして下さい。水の確保が困難な場合には手指消毒薬を使用して下さい。咳、鼻水、くしゃみ、痰のような症状がある場合、咳やくしゃみの前に口と鼻をティッシュペーパーで覆い、使用後は直ちに廃棄し、手洗いをして下さい。

脱水の予防も大切です。特別な病気がない限り一日1リットル程度の水分をとって下さい。トイレに行きたくないために水分制限をするのは危険です。元気がない、ぐったりしている、尿が少ない（濃い）、口渇があつたり口腔内が乾燥している場合には脱水症を疑い、医療スタッフに連絡して下さい。特に高齢者や子供は注意が必要です。

呼吸器疾患のある方は、内服と吸入薬は欠かさず続け、粉塵や煙などの空気の悪い所には近づかないようにしましょう。災害は大きなストレスをもたらすし、心にも影響を与えます。人が変わったようだ、ぼんやりとしている、落ち着きがない、過呼吸や動悸が頻回にある、などの症状はストレス障害の可能性があります。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

嫌なことばかり考えてしまう、眠れない、体が重くて動けない、死ぬことばかりを考えてしまう、などの症状はうつ状態の可能性があります。早期に対処する必要がありますが、本人が申し出ない（その気力もない）こともありますので、周りの人が注意し医療スタッフに連絡して下さい。

災害は被災者に多くの身体的、心理的、経済的な負担をもたらします。今後も地域一丸となつて一日も早い被災地の復興、被災者の生活再建を成し遂げることが求められています。

食べることは生きる！

この原稿を執筆しているころに、西日本豪雨災害が発生しました。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。私自身は何も被害はありませんでしたが、私の住む広島市と故郷の宇和島市の両方が被災地となり、テレビで流れる映像を見るたびに心が痛みました。そして、豪雨の後には猛暑となり、そのような中でもボランティアの方々が活躍されているのを心強く思いました。

さて、そんなとき、「熱中症」に気を付けて、「脱水」にならないように、との情報がテレビやラジオで流れます。そのとおりなんです、大事なことが抜けていると感じている私です。それは、食事を三食しっかり食べることが前提の上、水分をとる、水のみならず塩分も摂取する・・・これが正しいのです。

食事には水分が約1000～1500入っています。献立に汁物がなくても、野菜・果物の90%は水分ですし、米を炊くときには米の重量の1.5倍の水を入れて加熱してごはんが炊き上がるのです。食事をする＝水分をとることです。塩分についても同様に食事に含まれています。これを忘れてはいけません。三食をおろそかにして、水やスポーツドリンクを飲むばかりになっていませんか。報道もこの基本的な大事なことを伝えませんので、スポーツドリンクは飲んでいいけど、食事を抜いたり、そうめんばかりで済ませた

りして、夏を過ごしている人が多いのではないかと心配です。

知人が職場で早朝に倒れたことがありました。脳梗塞かと思って心配していたところ、医師の診断は脱水でした。前日が飲み会でアルコールを飲みすぎ、早出勤務で朝食をとらずに出勤して働いていたのです。ご存知のようにアルコールは脱水作用があります。体から水分が抜けていたところに食事を抜いたのでなおさら、水分不足となり、血液循環が悪くなって、脳に血液が不足して倒れたのです。

私は大学生の栄養相談を実施していますが、食事を抜く学生が多いことに驚きます。これを読んでくださっている読者の皆様でお子さんやお孫さんがいる方は、一緒に料理を作ってみるという体験を是非、定期的に実施してください。難しい料理でなくていいのです。ごはん、みそ汁、焼き魚、野菜炒め程度で充分です。もちろん男の子でも必要です。なぜなら、食べることが生きることだからです。

今後、どのような災害が起こるか分からない世の中です。一方、人生100年時代を迎え、生活していかなければならない年月も長期化傾向です。人生半ばで勤めていた会社が倒産して路頭に迷ったり、伴侶に先立たれたりして自立しなければいけない場合も訪れるかもしれません。そんな時、まずは自力で食事を準備できることが大切です。食べると元気が出ます。食べ

ると脳が働いて、いい知恵が浮かびます。食べると体がスムーズに動きます。食べると嫌な考えが吹っ飛びます。

水には栄養素は含まれていません。しかし、成人の体の60%は水分でできています。大事なのは構成成分なのです。

汗には水分以外にカリウムやナトリウムなどのミネラルが含まれます。汗をかいたときにはこれらも一緒に体外に排泄されますのでミネラルの補給も必要になります。運動や農作業、被災地のボランティア活動など炎天下で大量に汗をかいたときにはスポーツドリンクをお勧めします。

スポーツや重労働をしなくても注意したいのが高齢者の熱中症や脱水です。その原因として次の2つが主に考えられます。まず初めに高齢者は体内水分量が少なく、50%程度に減少しています。もともとの量が少ないのですから不足しやすくなります。次に高齢者は体の状況を感じ取る能力が低下していますので、暑さに対する感覚が鈍り、水分を欲しいと思わなかったり、冷房や衣服の調整の必要性に対処できなかったりします。

そして食事の面でもリスクがあります。高齢者は歯が悪い、飲み込みが悪いなど咀嚼、嚥下能力が低下している人が多いのです。そのせいで十分な栄養や水分をとれていない可能性があります。十分な栄養がとれないと体重が減少し

てきます。高齢者でガリガリに痩せている人をよく見かけますね。また、若い時には痩せていなかったのに年を重ねるほどに痩せてくる人は要注意です。国民栄養・健康調査の結果を見ると65歳以上の女性で低栄養の傾向の者（BMIが20kg/m²未満）がこの10年間で増加していることが指摘されています。これは、日常生活が困難になってしまふフレイル（虚弱）が進行する要因であることが懸念されています。

世界で類を見ないスピードで高齢化が進んでいる日本において、猛暑が継続すれば今後、熱中死？なるものが増加してくるのかもしれない。そんな時代、自分の身を守るのも食の知識と実践能力のある人なのかもしれませんね。

18歳以上におけるBMIの目標範囲

年齢（歳）	目標とするBMI (kg/m ²)
18～49	18.5～24.9
50～69	20.0～24.9
70以上	21.5～24.9

※BMI＝体重kg÷（身長m）²

体重（キロ）を身長（メートル）の2乗で割ったBMI（ボディー・マス・インデックス）は、適正体重を知るための指標。



広島修道大学
健康科学部 健康栄養学科
教授 藤井 文子
宇和島市出身
きものを楽しむ会々長

不完全こそ トイピアノの魅力

2008年7月 soundoffice 音旅舎 を設立し、ピアノ&トイピアノを駆使した“マルチピアノ” 奏者として独自の演奏活動を展開。



写真上：ピアノとトイピアノのマルチ演奏をする畑さん
写真下：コンサート終了後、園児の代表から手作りの首飾りが送られた

sound office 音旅舎 Tel.049-262-8156

<http://www.ototabisha.com/>

みなさんは、「トイピアノ」をご存じだろうか？ その名の通り「おもちゃのピアノ」だが、その種類もさまざまで、卓上に置いて演奏する小さなタイプから44鍵もある大型のタイプまで、大きさや形はもちろん、音色・音質・音量もそれぞれ異なる、とても個性的な楽器だ。

そんな「トイピアノ」を使って全国で音楽活動を展開している畑 奉枝さんのコンサートが宇和島市内の伊吹幼稚園で行われた。

畑さんは、音大を出て様々な音楽活動をされていたが、10年前に自ら企画・運営をやりたいと、埼玉県でサウンドオフィス音旅舎を立ち上げた。その頃、骨董市でトイピアノと出会った。

トイピアノの魅力を聞くと、「音も不安定で中には音が出ない鍵盤があったり、異音が出たり、音色も違います。そんな個性の強さや不安定さ、不完全さがトイピアノの魅力だと思います」と話してくれた。

埼玉から車にトイピアノを積み込んで全国を走り回る畑さん。出身地の新居浜を拠点に四国内を走り、埼玉に帰る頃には4000キロにもなっているという。

音旅舎の活動は、予算や環境、年齢など様々な要望に対応できるように多くの切り口を持っていて、人形劇や演劇とのコラボレーションも可能だ。

今回は、マリンバ奏者の椎名友樹さんとのコラボステージだ。

美しいピアノの調べと素朴でどこか懐かしいトイピアノの音色。そして軽妙で優しいマリンバの調べに幼稚園のホールはアツと言う間にコンサートホールへと変わった。

初めは、音の大きさに驚いていた園児たちだが、ステキな演奏と二人の軽妙な語り口に引き込まれ、音楽に合わせて体を揺らしたり、大きな声で歌ったりしていた。途中、ある園児が「ブラボー」と声を上げると、畑さんたちもびっくり。他の園児たちも口々に「ブラボー」と大きな声をあげていた。アンコールに園児たちが毎日歌っている今月の歌「にじ」が演奏されると全員が大きな声で歌っていた。



拠点である関東と、故郷愛媛県の2ヶ所のみで開催する10周年特別企画です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

音旅舎10周年&出版記念コンサート

ヒカリノオト コンサート

2018年12月1日(土) 14時開演 西条市総合文化会館 大ホール

〔第一部〕 幻想的な演出によるトイピアノのソロ演奏

〔第二部〕 今秋出版の著書「私は光をみつけた日 ※仮題」の著者と作家による対談

〔第三部〕 音旅舎の個性的なメンバー総出演+地元合唱団による、豪華でファンタジックなステージ

主催/ヒカリノオト応援団 お問い合わせ/0897-55-3052 (神拝保育園内/三谷・近藤)



お気楽 俳句

俳都松山の名物イベント「俳句甲子園」。地方予選を勝ち抜いた高校生がよりよい句を目指して議論を交わし合います。以下、歴代の最優秀句からいくつかご紹介しましょう。

◆宇和島東高校は常連出場校のひとつ。これまでに2回、その年の最優秀句に選ばれています。

宛先は象のころぐさが知つてをる 本多 秀光

号砲や飛び出す一塊の日焼 兵頭 輝

◆松山東高校出身の二人は現在若手俳人として活躍中。

カンバスの余白八月十五日 神野 紗希

夕立の一粒源氏物語 佐藤 文香

◆東京・開成高校はこれまでに最優秀句5回！

カルデラに湖残されし晩夏かな 青木 智

月眩しプールの底に触れてきて 佐藤 雄志

旅いつも雲に抜かれて大花野 岩田 奎

◆若い感性が光ります。

かなかなや平安京が足の下

高島 春佳（京都・紫野高校）

山頂に流星触れたのだろうか 清家 由香里（愛知・幸田高校）

夕焼や千年後には鳥の国

青本 柚紀（広島・広島高校）

今年の第21回俳句甲子園は山口・徳山高校が初優勝。接戦の末敗れた東京・開成高校の涙ながらの敗戦の弁には会場みんながもらい泣き。現代の若者がこれほどまでに情熱を燃やせる俳句ってすごい！

◆今回の全1280句から選ばれた最優秀句は沖繩の興南高校の句でした。

滴りや方舟に似てあなたの手 桃原 康平

◆宇和島東も団体奨励賞に加えて個人優秀賞を受賞。

滴りは自傷のやうで瞬きぬ 板尾 真奈美

草笛を吹けぬ大人になつてみた 高橋 恵美彩

言葉を大切にする若者が育つのは嬉しいことですね。
(文：小野更紗)



絵：律川エレキ

1966年宇和島市生まれ
2000年頃より俳句新聞
や俳句マガジン等に挿
絵を描く。
映像作家 奈良市在住

おすすめの本

危機管理のプロが直伝！『自衛隊防災 BOOK』

著：マガジンハウス 協力：自衛隊 / 防衛省 ￥1,000 (税込)

大変な夏が終わろうとしています。

被災された方々には謹んで心よりお見舞い申し上げます。

今回は防災 BOOK を紹介します。いま書店には、防災に関するさまざまな本が揃っています。中でもこの本は8月に発売された最新刊で、「危機管理のプロ、自衛隊のノウハウを初公開!!」と話題になっています。災害時の日常生活に役立つ100のテクニックをたっぷりのイラストと大きな文字で解説しており、一般人の目線でも分かりやすく役に立つこと間違いなしです!!

協力：岩崎書店 宇和島市錦町 4-16 TEL. 0895-22-0528



つなぐ美術館



作品名：ユリ（水彩・ペン）
作 者：細川清秀（大人クラス）



作品名：ツバキ（水彩）
作 者：細川千江子（大人クラス）



作品名：もよう（水彩・クレパス）
作 者：藤岡なつ（子供クラス 小2）

絵が引き寄せ、この教室で出会ったお二人。清秀君は定期船の操舵手で、空手の先生でもある。加えて絵も描く文武両道、宮本武蔵だ！
千江子さんは保育士として子供達の絵と触れ合い、自らも絵筆を取る。同じ緑を描いても、彼はペンの線を活かした少し渋め色、彼女の色は暖かホッコリ濁りがない。二人それぞれの素直な写生。アマチュアリズムの充実。

色がぬりたい！なっちゃんは、きれいな色がぬりたかったにちがいない。
そう思えばそうする、自分だけの世界。
この純粋な動機こそが活きた絵を生む。
次は何色にしよう？ ヨシ！

■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊） 宇和島市本町追手 2-8-6 TEL.0895-22-1104 <https://benibara.webhop.info/> コメント：吉田淳治



作品名：道後温泉（切り絵）
作 者：三浦澄子

一枚の黒い紙をデザインカッターで切り抜いていく切り絵。日々コツコツと熱心に制作する姿にはいつも心を打たれる。道後温泉の歴史を感じさせる表現と瓦と白壁の美しが素晴らしい！



作品名：薔薇（アクリル）
作 者：大野倫子

薔薇とフワッとした空気感を上手く表現出来ている。大人の色合いと筆のタッチが素敵。アクリル絵の具を重ねる表現で今後の作品制作に期待している。



作品名：人物（水彩）
作 者：山田翔大（高校2年）

夏期講習会での作品。何枚もクロッキーを重ね、大変難しい方向だが、よく観察してまとめる事ができた。彼の絵を描く真剣な姿勢は大変素晴らしい。今後の成長が益々楽しみな生徒。

■アトリエぱれっと 宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-7784-4703 www.art-palette.com コメント：清家 由佳

ライブ情報

MITCH'S LIL BRATS BRASS BAND

日本でのニューオリンズブラスバンドのパイオニアであるMITCHが中心になり 2000 年に結成。Black Bottom Band や Blitz&Squash Brass Band のメンバー、ジャズシーンで広く活躍するミュージシャン達が集まった日本最高峰のオールスターブラスバンド。伝統的な TRADJAZZ から FUNK.R&B.HIP HOP.REGGAE.ORIGINAL と幅広いレパートリーでの強烈にダンサブルなステージは必見！

11月11日（日）19:00 オープン 20:00 スタート
チケット / 前売り 4,000 円 当日 4,500 円

■R69K JACK 宇和島市中央町 2-4-8 TEL. 0895-28-6069



がんばろう!宇和島

— 姉妹都市による復興支援の輪 —



現在、平成30年7月豪雨災害による復興支援の輪が広がっています。

特に、宇和島市と縁のある姉妹都市からは、支援金や義援金といった金銭面による支援や、行政職員の派遣等による人的応援のほか、宇和島への観光ツアーの企画や宇和島の特産品販売による復興応援フェア開催の申し出など、多くのご支援をいただいています。また、宇和島信用金庫とも関係の深いお茶の井ヶ田株式会社（本社：仙台市）では、今回の豪雨災害による復興に向けた独自の取組みを展開していただくなど、さまざまなところで被災地復興の支援の輪が広がっています。

姉妹都市の皆様からの格別のご支援に対し、この場をお借りして、心から感謝と御礼を申し上げます。

がんばろう、宇和島！

宇和島市長 岡原 文彰

● 姉妹都市からの支援金・義援金の贈呈



宮城県仙台市



宮城県大崎市・大崎市議会



北海道石狩郡当別町

● お茶の井ヶ田株式会社の取り組み

- ① 姉妹都市コラボ商品「ブラッドオレンジどら焼」の収益の一部を義援金として寄附
- ② 自社店舗による義援金の募金活動
- ③ 提携農家と連携した農産物直売会による収益を義援金として寄附
- ④ 自店舗の来場者やスタッフによる被災地応援の寄せ書き
- ⑤ 復興応援フェアの実施（予定）

姉妹都市のきずなを
ありがとう！

